



新たな産学官民連携の大学院教育を目指して 〈フューチャーアジア創生フォーラム〉を開催

概要

平成26年4月に開設する大学院地球社会統合科学府では、九州大学リーディングプログラム「フューチャーアジア創生を先導する統合学際型リーダープログラム」を開始します。このプログラムでは、アジアの問題解決に取り組むイノベーション人材育成を目指して、産学官民連携で新しい大学院教育を実施します。プログラムの開始にあたり、産業界やマスコミ、各種団体の最前線で活躍されている方々を招いてフォーラムを開催し、今後の産学官民連携の大学院教育を共に考えます。

背景

平成26年4月、九州大学大学院比較社会文化学府（平成6年設置）を改組して、新しく大学院地球社会統合科学府がスタートします。地球社会統合科学府は、グローバル化が進展した世界の現状を見据えて、①人類がグローバルに直面している問題を正しく把握し、その課題解決に取り組む地球社会的な視野に立つ教育研究と、②世界の問題の究明と解決を目指した、様々な研究分野の学際的な連携による統合的な学際性を設立理念として設置します。

これらの理念を実現していくためには、具体的な課題と取り組んでいる様々なセクターの協力、大学内にとどまらない産学官民の連携が求められます。そこで地球社会統合科学府は、先導的な博士課程教育プログラムを支援する九州大学リーディングプログラム事業に申請し、大学院開設にあわせて、「フューチャーアジア創生を先導する統合学際型リーダープログラム」を開始することとしました。このプログラムは地球社会統合科学府の入学生の一部を特別選抜し、産学官民で実施するプログラム独自科目と研究経費の支援によって、アジア・イノベーションに貢献する人材の育成を目指すものです。本プログラムを実施することにより、新学府の理念を、産学官民の連携によるアジア・イノベーション人材の育成として具体化していきたいと考えています。

この度、本プログラムの開始にあたって、〈第1回フューチャーアジア創生フォーラムーアジア・イノベーション人材の育成を目指してー〉を開催し、新しい大学院教育を実現していくための課題は何か、その課題を解決していくために何が求められるのかについて、産学官民が共に考えていく場を設けます。

内容

これからの時代に求められる新しい大学院教育を目指して、先頭に立って大学院改革を進めた大学人と、各界の現場の最前線でご活躍の方々が一同に話し、これからの大学院に求められる産学官民連携のあり方を共に考えるフォーラムを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

〈第1回フューチャーアジア創生フォーラムーアジア・イノベーション人材の育成を目指してー〉

○日時：平成26年3月27日（木）午後3時～午後5時30分

○会場：九州大学西新プラザ 大会議室 〈入場無料〉
（福岡市早良区西新2-16-23 市営地下鉄 西新駅より徒歩10分）

○プログラム

- ・基調講演「地球社会統合科学が目指すものー産学官民による統合学際について」
古谷嘉章 地球社会統合科学府長（就任予定）

・パネラーからの提言とディスカッション

- | | | |
|----------|--------------|------------------------|
| 龍造寺 健介 氏 | 本多機工株式会社 | 代表取締役社長 |
| 椛島 滋 氏 | 西日本新聞株式会社 | 編集局経済部長 |
| 吉田 憲 氏 | 国際協力機構（JICA） | 青年海外協力隊事務局 課長 |
| 倉員 知子 氏 | 国連ハビタット福岡本部 | （アジア太平洋担当）調整官（福岡市より派遣） |

■効 果

現在、大学院教育には、単なる学問の専門家にとどまらない、高度専門職業人の育成が求められています。そのためには、アカデミアと社会の垣根を乗り越えたさまざまな連携が必要となります。

本フォーラムでは、これからの大学院教育における産学官民連携の可能性や方策について、具体的な現場に携わる方々から、ご提言をいただきます。今回のフォーラムでいただいた提言は、地球社会統合科学府ならびにその「フューチャーアジア創生を先導する統合学際型リーダープログラム」において実際に取り上げていく計画です。これにより、机上の提言にとどまることのない大学院教育改革、産学官民連携の実現が期待されます。

■今後の展開

地球社会統合科学府ならびに本リーディングプログラムは本年4月から開始します。毎年着実に計画を実施し、実績を積み上げることによって、産学官民の連携大学院教育を軌道にのせ、アジアに強い大学院教育を実現していきたいと考えています。

そのために、アジアのアクチュアルな課題に挑戦し、先進的な取り組みを行っている様々な諸団体との間に協力関係を築き、産学官民連携によるアジア・イノベーション人材育成の拠点となることを目指します。また、その成果を、「フューチャーアジア創生フォーラム」を通して、広く市民の皆様にも還元していきたいと考えています。

【お問い合わせ】

大学院比較社会文化研究院 教授 楠木 政彦 (かぶらぎ まさひこ)

電話：092-802-5623

FAX：092-802-5623

Mail：kaburagi@scs.kyushu-u.ac.jp